

めっちゃうまおにぎりからおにぎり屋さんへ

～うさぎ組が飛び込んだ「オニじゃないよオニギリだよ」の世界～

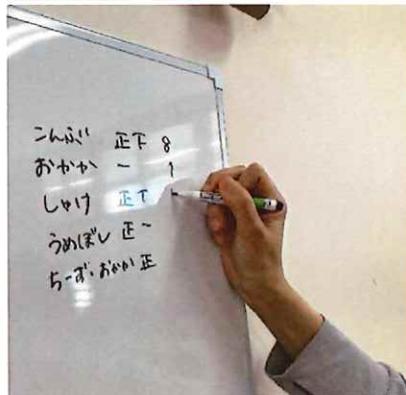


「オニじゃないよオニギリだよ」との出会い

節分が近づく1月の下旬。季節の絵本としてクラスに『オニじゃないよオニギリだよ』という一冊の絵本を置きました。すると、毎日代わる代わる子どもたちの手に取られ、「おにぎり一緒に食べよ!」「パクっ!」などの会話も聞こえてくるようになっていました。そこで、『オニじゃないよオニギリだよ』をきっかけにした遊びができないかと保育者のなかでも話し合いをはじめてみました。らいおん組さんのようにホールに絵本の世界をつくらったり、きりん組さんのようにジオラマをつくるのは、うさぎ組さんには少し難しいかなという話し合いになり、そこで、最強のおにぎりを決めるおにぎりトーナメントを開催する、食育の方向でいくのはどうだろうかと案ができました。

子どもたちと話し合ってみる

子どもたちにも聞いてみよう!と子どもたちとの話し合いをしました。「『オニじゃないよオニギリだよ』のオニたちって色んなおにぎり握ってるよね!」「うん!シャケとか!」「うめとかもあったよ!」「あと昆布も!」「そうだよね! いろんなおにぎりがあったけど、どれが一番おいしいのかな?」「うーん、シャケ!」「たらこ!」「ちがうよ! この緑と黒のやつだよ!」「いろんな意見が出てきてるけど…一番おいしいおにぎりは食べてみないとどれかわかんないね…」「え! じゃあ食べてみようよ!」「食べて一番おいしい最強のおにぎり決めるってこと?」「うん! 食べてみたらどれがおいしいか決められるよ!」「じゃあ、具材は何で食べ比べする?」と話し合いは進み、シャケ・昆布・うめの具材で食べ比べをすることになりました。



ドキドキ! サミットへお買い物

今日は、最強のスペシャルおにぎりづくり一日目。金曜日に話し合っていたチームに分かれ、「シャケ・うめ・こんぶ・お米」を買いにサミットに出かけて行きました。「今日のおにぎり楽しみだな〜!」「シャケが一番好き!」「僕、こんぶの場所知っているから任せて!」と楽しそうにサミットに向かいました。

サミットでは、梅干しの種類の多さやお米2kgを探すことに苦戦しながらも、みんなで相談して無事に買い物にいくことができました。「もうお米炊く?」「給食のあとに炊くからまだだね!」「そっか〜! まだかな〜!」とお米を炊くのを本当に楽しみにしていました。



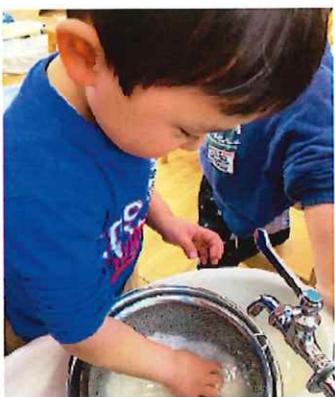
はじめてみんなでお米を炊いた！

給食のあと、いざお米を炊く準備が始まっていきました。炊く前のお米を見せると、「さっきのお米と違うね」「そうだよ、これはバラバラのお米だから！」と子どもたちが話していたので、「そうなの！給食で食べてるお米とこのお米はちょっと違うよね！」と話を振ってみました。すると、「これ炊飯器に入れたら食べれるようになるの？」「違うよ！まず洗わないとだよね！」とはじめて炊くご飯に興味津々の子どもたち。お米の洗い方と炊き方を説明すると、「わかった！」「やろう！！」「おいしいご飯にしようね！」と意気込んでさっそく作業がはじめていきました。

お米を洗うときには、「冷たい！」「なんかつぶつぶしてるね」「これでおいしくなるかな！」と真剣な表情で一生懸命にお米と向き合い、炊飯器の蓋を締める前には「おいしくなってねー！」「お願いねー！！」「おいしくな一れ！！」とおまじないをかけるとってもかわいいうさぎ組でした。



おいしいご飯になーれ！！



はじめてみんなでおにぎりを握ったよ！

午睡明け、「もうご飯炊けてるかな！」「みたい！」「はやくみよう！」と待ちきれない子どもたちと一緒に炊飯器の中を見てみました。「うわー！！」「お米の匂いする！」「炊けてる！」「炊けてるよ！！」「やったー！」と無事に炊けていたご飯に大喜びでした。

炊けたご飯を使って、さっそくおにぎりづくりが始まると、「どれが美味しいかな？」「シャケかな？」「こんぶだよー！」と子どもたち同士でも最強スペシャルおにぎりに向けた話を楽しそうにしていました。できあがったおにぎりを食べてみると「おいしいね！」「こんぶが一番おいしい！」「シャケのほうが好き！」「梅干しすっぱいー！」と色々な意見がでてきました。お休みの子も多かったので、どの具材がおいしかったか投票するのは、翌週にリベンジすることでこの日は意見がまとまりました。



投票!!!
こんぶが多かった
ね！おいしかった
もんね！

完成した
よー！！



おにぎりづくり/ベンジ!

公園からの帰り道、「おにぎり作りに帰ろう!」と声掛けをしていたこともあり、「おにぎり!」「めっちゃうまおにぎり作るんだ!」と子どもたちの間でおにぎりの話が出ていました。「めっちゃうまおにぎり作ったらさ、らいおんさんにも食べさせてあげたいよね!」「いいね!きりんさんにも食べさせてあげようよ!」「じゃあ、まずめっちゃうまおにぎり作らないとね!」「そうだね、あ!いいこと思いついた!らいおんさんのお寿司屋さんみたいに、おにぎり屋さんにしたらいんじゃない!」「それいいね!」「おにぎり屋さんだ!!」「看板とかも作ろうよ!」「じゃあ!じゃあ!お金もいるよね!」「あと帽子!鬼のやつにしよう!」「うわ~!やることいっぱいだ!」と話が盛り上がっていきました。はじめは保育者主導で、最強スペシャルおにぎりと呼んでいたおにぎりも、子どもたちの中でめっちゃうまおにぎりとお名前が変わり、おにぎり屋さんにもまで構想が広がってきていきました。



シャカシャカいい音
するね!

海の音みたいじゃな
い?もっと聞こ!

いい音して綺麗にな
るから最高だね!



おいしいご飯になーれ!

おにぎりづくりリベンジ2

午後、おにぎり第二弾をつくりました。お休みの子も多かったので、具材は変えずにリベンジしました。ペロッとおにぎりを食べ、「やっぱり今日もおいしい!」「シャケがおいしい!」「こんぶかな〜!」と大盛り上がりでした。投票の結果…具材第一弾の優勝は、“こんぶ”でした! 次回は、具材第二弾! どんな具材になるのか、めっちゃうまおにぎりへの道は続きます。



めっちゃうまおにぎりが日常へ

めっちゃうまおにぎりづくりの探求を進めていくと、日常の遊びのなかにもおにぎりづくり遊びが広がっていききました。ある日、園庭遊びをしていると、おにぎりづくりがはじまりました。



①

おにぎり屋さんしようよ!

いいね!お米持ってくる!

具材もいる!さがそ!!

②



これ梅干しー!!



シャケみつけた!
これなら混ぜられる

おにぎりづくりに夢中
だったので、ラップを
出してみました

③

しっかり混ぜてラップ
に包んで...

④



シャケまぜてまぜて!



⑤

完成!いっぱいお
にぎりできた!



本物みたいにおにぎりをつくりたい！

おにぎり屋さんを作りたい！と話が盛り上がり、おにぎりづくりがはじまっていきました(①)。ご飯は砂でつくるとして、問題に上がったのは具材でした。梅干しのような赤くて丸いものは、ボールやお友達の髪ゴムで見つからず、「それじゃ混ぜれないよ！」「ご飯の中にいれられないもんね…」と思うようにいきませんでした。梅干しのようなものを探して園庭中を歩いている時に見つけたのが、シャケのようなもの。切り株から木くずを集めてみると、昨日食べたシャケそっくり。「これはシャケだー！！」「シャケみつけたよ！」と大喜びでした(②)。具材とご飯を混ぜるのもお手の物で、しゃもじを使って器用に混ぜていました(③)。

具材とご飯が混ぜ合わされたところで、ラップを用意してみると、「え！ラップだ！」「本物のおにぎりみたいになる！」「はやくにぎろう！」と逸る気持ちが抑えられないようにラップにシャケご飯をのっけていました(④)。しばらくおにぎりを握っていると、「シャケが足りない！」「シャケ取りに行かないと！」と、シャケの話が子どもたちのなかで出ていたので、昨日使った空になっていたシャケの瓶を持って降りてきてみました。すると、「あー！シャケだ！」「これに入れたら本物みたいだよ！」「シャケにしかみえない！」と大喜びで、シャケおにぎりをたくさん作っていました(④・⑤)。

※()内、上記の写真の関連箇所



「本物みたい！」にある子どもたちの思い

おにぎりづくりをはじめた子どもたちのなかから、「本物みたい！」という言葉がたくさんできていきました。自分たちでおにぎりをつくった経験が、鮮明に子どもたちのなかにあるからこそ、「昨日の！あの！おにぎりみたいに作りたい！」という思いが湧き出てきていきました。本物らしさを追求できる、したいと思う、思いの裏側には、真剣におにぎりづくりと向き合い楽しんでいる子どもたちの姿があるからだと思います。

『オニじゃないよオニギリだよ』の絵本からはじまっためっちゃうまおにぎりづくりが、一回一回の食育のときだけでなく、日々の日常のなかでも生き、遊びが深まっているなど感じていました。

またある日の公園で！

森のある公園で遊び始めると、さっそく梅の木を見つけました。「白とピンクとあるー！」「下にいっぱい花が落ちてる！」「かわいい！」「一緒に拾おう！」と梅の花びら拾いに夢中になっていました。「みて！うめ！」と手のひらいっぱい花びらを集めて見せてくれたので、「梅の花びらきれいだね！」と返すと、「違うよ！これおにぎりの梅！おにぎりの具材にするの！梅と梅でめっちゃいいでしょ！」と返答が。「え！そういうこと！それいいね！梅だし梅干しにできそうだね！」「でも梅干しにするならピンクがいいか！」「拾いに行こう！」と今度はピンクの梅の花びら拾いはじまりました。公園の中にあるものが、おにぎりの具材と結びついていく。子どもたちの想像力が遊びをさらに面白くしていました。



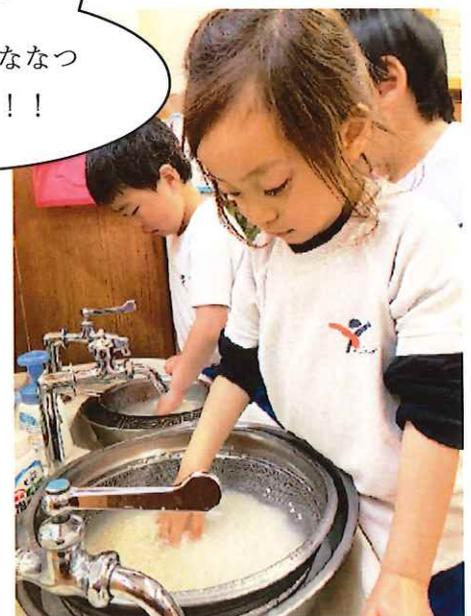
おにぎりづくり三回目！

事前の話し合いで、食材決めと買い物のチーム分けを行いました。今までに子どもたちから出てきていた食材は、“ゆかり、わかめ、おかか、ツナマヨ、ネギトロ、たらこ、納豆、しらす”でした。保育園で使えない食材があることを説明し、ネギトロ、たらこ、納豆はなしに、しらすはじゃこに変更してもいいか聞いてみると「いいよー！」「ゆかりがあるならいい！」「わかめもあるもんね！」と快諾してくれました。そこで、残った食材”ゆかり、わかめ、おかか、ツナマヨ、じゃこ”で食材決めをしました。「ゆかりがいいな〜！」「ゆかりご飯おいしいもんね！」「私はツナマヨが好き！」と話し合いを行い、最終的には投票で食材決めをしました。話し合いと投票の結果…ゆかり・わかめ・ツナマヨに決定しました！その後買い物のチーム分けもして、今日を楽しみにしていました。

そんな話し合いを経て、翌日の午前中に買い物に行ってきました。「今日はゆかりを買うんだよ〜！」「お米は2キロ！」と楽しそうに買い物をしていました。



今日のお米はななつ
ぼしにしよう！！



ついに具材の優勝が決まった！

午後にはおにぎりづくりがはじまりました。三回目になるとおにぎりをにぎるのもお手の物で、「何から食べよっかな〜！」「ゆかり一口食べたらわかめにする！」など子どもたち同士でも楽しそうな会話がされていました。食べ始めると、「ゆかりおいしい！」「わかめはしょっぱいー！！」「ツナマヨもおいしい！！」「何が一番おいしかった？」「ゆかり！」「私はツナマヨ！」「ゆかりが一番おいしかった人ー！！」「はーい！！」「ツナマヨが一番の人ー！！」「はーい！！！」と子どもたち同士で話が盛り上がっていました。いざ、投票をしてみると…ゆかりの圧勝でした！その後、ゆかりと昆布の投票も行い、ゆかりが勝ち上がり、具材の優勝はゆかりになりました。



具材の次は海苔へ！

おにぎりの探求を次に進めて行きたかったのですが、子どもたちに「みんなが食べてるおにぎりとおニのおにぎりなんかちょっと違う？」と問いかけてみました。すると、じつと絵本をみていた子どもたちから「海苔だ！」「海苔がない！」と意見がでてきました。「本当だ！最強のおにぎりには海苔が必要かもね！」「じゃあ次は海苔まこうよ！」「でもどんな海苔が一番おいしいかわかんないよ」「うーん」「海苔は朝食食べるやつがおいしいけどそれがわかんないな」「サミットに海苔見に行ってみようか！」「え！いいね！サミット行こう！」と海苔の探求へ話が進んで行きました。

サミットへ海苔の偵察に！

翌週のおにぎりに向けてどんな海苔を買うのか、どんな海苔があるのか、サミットに偵察にいきました。海苔のコーナーにはたくさんの海苔が並べられており、「韓国のりだー！」「これおにぎりの絵描いてあるよ！」「たくさんあるね」「どれがおいしいかな？」と子どもたちの話し合いがされていました。何種類かの海苔を写真に撮り、保育園に帰ってゆっくり話し合いをしてみることにしました。

サミットにあった海苔の種類は、焼き海苔、味海苔、塩海苔、韓国のり、梅のり、きざみのりでした。「梅のりがいい！」「韓国のりがいいなー！」「うめ！うめ！」と子どもたちの人気は梅のりと韓国のりでした。「めっちゃうまおにぎりに合う海苔だからな～」「そうか、おにぎりにするならおにぎりのマークがついてるのがいいのかな？」「でもうめがいい！」「韓国のりも！」と話し合いが進み、最後は投票で決めることになりました。

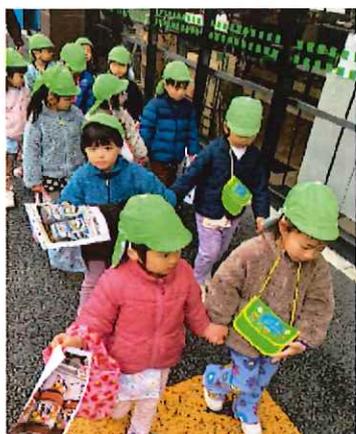
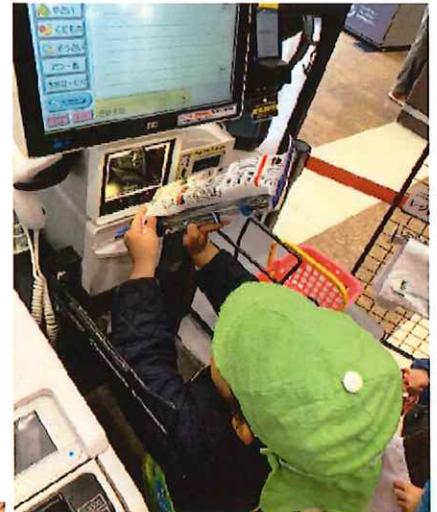
投票の結果、梅のり・韓国のり・味海苔・焼き海苔の4種類を試してみることになりました。



海苔の食べ比べへ！

今日はおにぎり第4弾、めちゃうまおにぎりに合う海苔はどんな海苔なのか事前に決めていた海苔の買い出しからはじまりました。チームに分かれて買う予定の海苔の写真を見ながら、「これじゃないね」「おにぎりの絵が描いてあるんだよ！」「あー！あった！あれだよ！」「手届かないから取ってください！」と自分たちで買う予定の海苔を見つけ、かごに入れ、お会計もして、嬉しそうに海苔を抱えてかえってきました。

お米を炊く作業はお手の物で午睡前に炊飯器をセットし、楽しみに午睡へと向かいました。午睡明け、炊けているご飯をみて「できてるできてる！」「めちゃうまおにぎりの最強の海苔見つけるぞー！」と意気込んでおにぎりづくりがはじまっていきました。



海苔の種類4種類。あじ海苔、焼き海苔、梅のり、韓国のにりの4種類を握りながら、「匂いがちがう！」「ぜったい梅のりがおいしいよね！」「えー！韓国のにりだよ！」「でもおにぎりの絵描いてあったやつもおいしそうだよ！」と楽しそうな会話が聞こえてきていました。4種類の海苔巻きおにぎりを食べ、投票してみると…3位2票梅のり、2位4票あじ海苔、そして…1位9票韓国のにりでした！圧倒的な人気で韓国のにりがめっちゃうまおにぎりに採用されました！次は最後のお米の探求に入っていきます。



おかわりください！！
まだ食べたい！！

真剣に投票！
うーんあじ海苔と韓国のにりどっちにしようかな…！



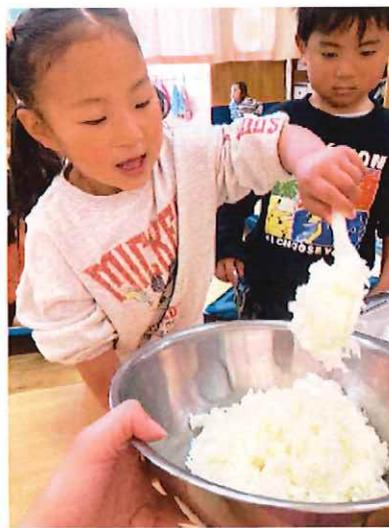
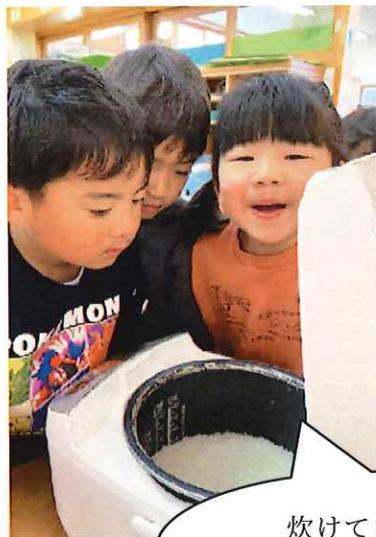
海苔からお米の探求へ！

今日は待ちに待ったおにぎりの日でした。数日前から、「今日はおにぎり？」「あと何回寝たらおにぎり？」とおにぎりの日を楽しみにしていたので、「今日おにぎりだよね！」「お米屋さん行くんだよね！」と朝から盛り上がっていました。

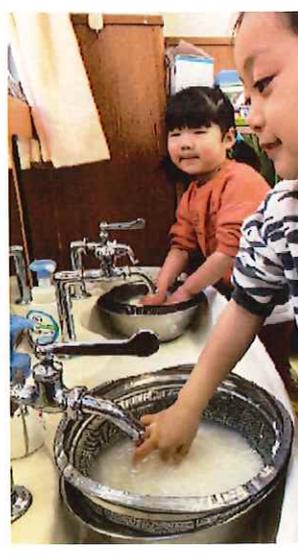
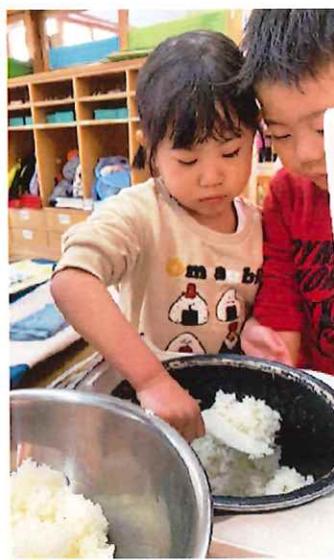
お米屋さんに着くと、お米屋さんのご厚意で玄米やぬか、精米機などをみせていただき、「このお米茶色い！」「これお米の皮？」と興味津々で聞いていました。その後、コシヒカリチーム・あきたこまちチーム・ひとめぼれチームに分かれて、「コシヒカリ 540g ください！」と自分たちでお願いをし、お金も払い三種類のお米を買うことができました！



保育園に帰ってくると、お米の準備がはじまりました。今回は三種類のお米を炊くため、いつもよりもたくさんのお米を洗い、順番に炊飯器にセットして炊いていきました。「これさ、どれがどれだかわかんなくならない？」「ラップに書いてくれているけどラップ取ったら、わからなくなるよね…どうする？」「うーん、ここ(ボウル)に書く！」「ボウルに書いたら次使えなくなるよね…」「そっか、じゃあシール貼る！」「いいね！シール貼ろうか！」と種類は違うけど、見た目が似ているお米をどうするのかの話し合いがおきました。

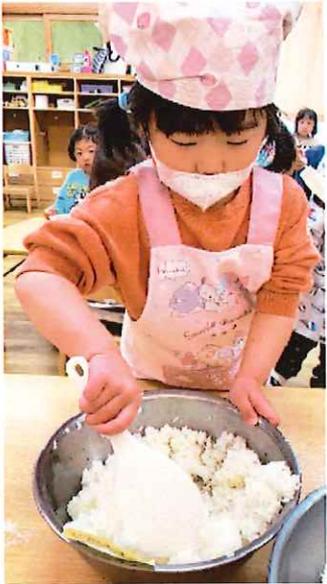


炊けてる～！
美味しそうな匂い！



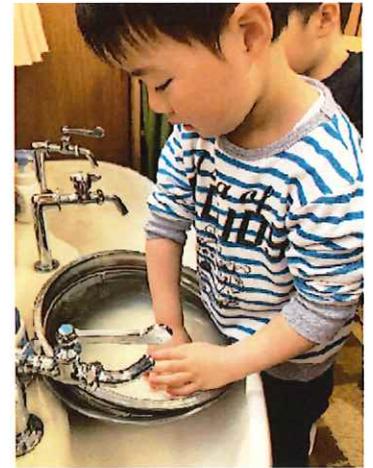
午睡後、おにぎりづくりをさっそくはじめました。今回はシンプルな塩むすび。ラップにシールを貼りながらのお米か分かるように握っていきました。「これピンクのシールだからひとめぼれか、ひとめぼれがあまい！」「え！あまいよね！！ひとめぼれあまいよね！」「あきたこまちはあついで！」「おいしい！美味すぎる！」。楽しそうにおにぎりの話をしながら話が進んでいました。いざ投票をすると、あきたこまちは6票、コシヒカリは1票、ひとめぼれは5票であきたこまちは勝ち進みました！

ここまで続けてきためちゃうまおにぎりトーナメントもお米が決まったことで完成になりました！めちゃうまおにぎりに選ばれたのは、具材はゆかり、のりは韓国のもり、お米はあきたこまちでした！



めちゃうまおにぎりの完成！

この日はついにおにぎりづくり最終日。めちゃうまおにぎりづくりでした。朝から、サミットとお米屋さん
買い物にいき、めちゃうまおにぎりの具材：ゆかり、海苔：韓国のり、お米：あきたこまちを買ってきました。
お米屋さんでは、玄米にぬかを触らせてもらいました。「サラサラしてるね」「気持ちいいね！」「あきたこまちを
900g ください！」と自分たちでのお買い物もお手の物でした。

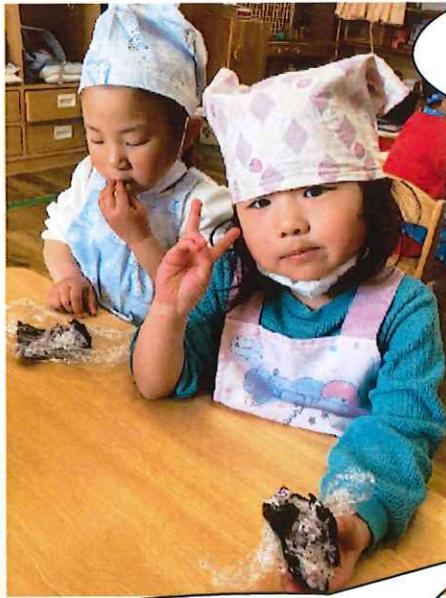


午後、めちゃうまおにぎりづくりがはじまっていきました。お米とゆかりをまぜて、韓国のりを敷いて、自分
でラップに移し、おにぎりにする。「ゆかりのいい匂いがするね！」「韓国のり二枚にしよう！」「いいね！二枚の
方が巻きやすいもんね！」「はやくたべよう！」と盛り上がっていました。

「めっちゃうおいしい！！」「さいこう！！」「先生！本当においしいね！」「本当にめちゃうまだ！」「めちゃう
まおにぎりできたね！」と何度もおかわりにくるほど大人気でした。

『オニじゃないよオニギリだよ』という絵本からはじまっためちゃうまおにぎりを探求する遊びも一つの区切
りを迎えました。何度も何度もお米を炊き、最強のめちゃうまおにぎりを作ろうと試行錯誤しました。子どもた
ちの真剣な表情や、「次はこれしたいね！」というような楽しそうな発言に、保育者も一緒に考え、遊びが深まり
面白くなっていったなと感じます。ここから、自分たちでもおにぎり屋さんをしたい！という声が上がっている
ので、さらにおにぎりが深まっていけばいいなと活動が展開しました。





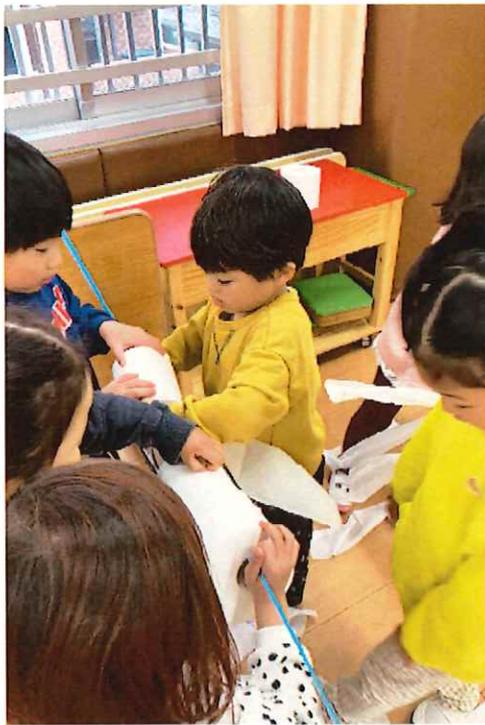
おかわりも自分でつくるよ！

おいしい〜〜！！
さいこうすぎるね！！！！

おにぎり握る
のも上手にな
ったよ！

トイレットペーパー遊び！

いつも遊べないトイレットペーパーを存分に使って、「今日だけ特別ね！」「いえーい！！」と楽しそうに遊んでいました。



おにぎり屋さんづくりへ！

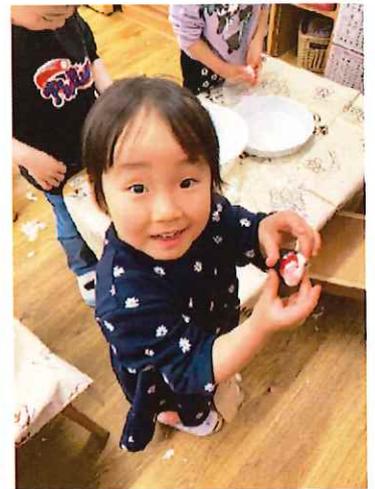
前日に遊んだトイレットペーパーを使っておにぎりづくりをしました。まずはトイレットペーパーをお米に見立てて小さくちぎるところからはじまっていきました。「これはコシヒカリね！」「じゃあこっちはあきたこまち！」「お米は小さいからこんなに小さくちぎったよ！」「いいね！おいしいお米になるかな～！」



トイレットペーパーをちぎり、お米に変わっていくと今度は海苔づくり。「韓国のりはちょっと太かったから太く切ったよ!」「これは味のり!」「ながーいのりにしようかな~!」「みてみて!韓国のりできた!」



海苔ができたらいざ、おにぎりを握る作業にはいっていきました。花紙を具材に見立てて、シャケや梅干し、こんぶなど思い思いの具材を入れたおにぎりが握られていきました。実際に何度も自分たちでおにぎりを握っているので、お米をまず置き、具材を入れて、その上にお米をかぶせる、おにぎりの握り方、海苔の巻き方など、職人のような手さばきで作っていました。「みてみて!シャケおにぎりできた!」「もう一個作りたいな!」「次はツナマヨだ!」「ゆかりもつくろー!」「おいしそうでしょー!!」「ほんとに!めっちゃおいしそう!」「これめっちゃうまおにぎりだよ!」



作りただけ作っていいよと子どもたちのペースにすべてを任せてみたくなるほど、夢中になって楽しそうにおにぎりを作っていました。木曜日は最後のおにぎり探求、お米編です。子どもたちも保育者も楽しみにしています!





今度はゆかりにしようかなー！！

みてみて！
シャケ包むんだよ！



おにぎり屋さんに向けての話し合い！

おにぎり屋さんを開店させるため、どんな準備が必要か話し合いをしました。「おにぎりはたくさんいるよね！」「あとお金も！」「オニが台車におにぎり乗せてたから台車！」「あと～！看板がある！！」とたくさんの意見ができました。そこで、チーム分けをして必要なものをつくっていくことで話がまとまりました。

できたチームは4つ。おにぎりチーム・台車チーム・お金チーム・看板チームの4つのチームに分かれておにぎり屋さんづくりがはじまっていきました。

おにぎり：「みて！おにぎりゆっくり作ると綺麗になるよ！」「ほんとだ！プロのおにぎり職人だね！」

お金：「おにぎりチケットのおにぎりはうめと～こっちはこんぶ！」「とろろ昆布にもしようね！」

看板：「おにぎり屋さんだからお部屋中おにぎりにしよう！」「いいね！じゃあもっとおにぎりつくろう！」

台車：「オニたちが持つてる台車は～茶色だ！茶色に塗ろう！」「ゼーんぶ塗ろうね！」
と各々、子どもたちで話し合い、やりながらこんなのはどう！？といいことを思い付き、楽しそうにおにぎり屋
さんをつくっていました。





おにぎり屋さん開店準備！

おにぎり屋さんの開店準備をしました。「らいおんさんみたいにオニたちが被ってたおにんぎりのお面したい！」「らいおんさん被ってたよね！」という意見ができました。らいおん組さんのお寿司屋さんやうらめしやを見ていた子どもたちだからこそ、自分たちもお面をしたい！という思いが湧き出てきたのだと思います。「いいね！つくろう！」とさっそくお面づくりがはじまりました。どのオニがいいか子どもたちに相談すると、「オニの角があるとオニってばれちゃうから、おにぎり被ってるやつがいい！」「このページ！」とお面にしたいオニのページまで出てきたので、そこを印刷して自分たちで切りって貼って、お面が完成しました。「どう！？かわいい？」「かわいいよ！上手にできたね！」「いまかぶってよ～！」と給食の時間まで被っていました。



いいね！

台車におにぎり
いっぱい貼ろう！！



この日もおにぎり屋さんの開店準備は進んでいます。絵本を改めて見ていると、オニたちが持っている台車に旗や装飾があることがわかりました。「まって風船もあるよ！」「風船におにぎりついてるよ！つけようよ！」「いいね！」「旗には～おにぎりとおにね！」と着々と開店準備が進んでいます。



このオニたちなんか色々もっ
てるよ！みて！！
これもつくろうよ！



おにぎりたく
さん切ろう！

オニのつの見なが
らつくるんだ！



おにぎり屋さん開店準備！2

翌日のおにぎり屋さん開店に向けて着々と準備が進んでいました。クラスのレイアウトやおにぎりの置き方、看板づくりに旗、風船づくりなど、子どもたちからでてくる「今度はこれしよう！」「オニたちこれもってるよ！」「つくりたい！」に保育者も背中を押されながら一緒におにぎり屋さんの開店準備を進めています。翌日のおにぎり屋さんの開店を本当に楽しみにしていたうさぎ組さんでした。





今日はいよいよおにぎり屋さんが開店しました！「いらっしゃいませ！」「ゆかりですよ！」「うめですよ！」と元気なオニたちの声が響き渡りました。午前中はあひる組さんとひよこ組さんが、午後にはらいおん組・きりん組・りす組さんが買い物に来てくれました。おにぎり屋さんをしながら、「めっちゃうまおにぎりはゆかりだったんだけどね、こんぶもおいしいよ！」なんていう声もありました。おにぎりの活動が食育を経て、製作へ繋がり遊びが深まっていったと思います。





めちゃうまおにぎりづくりからおにぎり屋さんへを振り返る

『オニじゃないよオニギリだよ』という一冊の絵本から、めちゃうまおにぎりを見つけることに夢中になり、さらにはおにぎり屋さんをつくることに夢中になりました。毎日のように聞こえてくる「めちゃうまおにぎりはさ、こうだよね!」「オニたちが持つてるこれをつくりたい!」「先生!いいこと思いついたよ!」というような楽しそうな声に保育者も後押しされて、共に遊びを深めてきました。時には喧嘩をしたり、上手いかずに涙することもありましたが、誰かが悲しいならこうしてみようよ!、さっきはごめんね、一緒にやろうよ!とお友達の気持ちに寄り添える場面もたくさんみられました。また、ハサミやノリ、握るなど手先を使うことも多く、様々な経験ができた活動になったと振り返ります。やっているうちに面白くなってきて、今度はこれしようよ!というアイデアやイメージが広がっていく3歳児らしいものでもあったなと思います。また来年度も子どもたちの興味関心を丁寧に拾いながら遊びを深めていけたらと思います。

食育に快く付き合っていたいただいた厨房さん、買い物に来てくれた他のクラス、お米を買いに行かせていただいた高瀬米店さん、食育セットの準備や子どもたちの話をたくさん聞いていただいたお家の方々にも支えられ、ここまで走ってこれることができました。本当にありがとうございました!

